

校友会報

中央学院校友会本部

〒136-0071 江東区亀戸 7-65-12

中央学院大学中央高等学校

TEL (5836) 7 0 2 0

毎年1回発行

誠實に謙虚をまよ

渠が心で人に接し

奉仕と感謝の心を養ふ

常身を慎み反省を

研鑽を怠れるな

創業者 博士 高橋 隆 先生 遺徳を
建学の精神 永く 継承す

これからの校友会
活動について



常任理事
商業科教諭
大橋 治久

校友の皆様には、常日頃から中央学院大学中央高等学校にご協力ご指導を賜り、誠にありがとうございます。

お陰さまで新校舎・校庭が完成して、生徒達も明るくのびのびとした学校生活を送っております。これもひとえに卒業生・保護者・関係各位の皆様のご支援によるものと心より感謝しております。昨今、若い世代の校友会の参加率の低下が顕著です。

次のような要因が考えられます。本校は、平成十年に校名を「中央商業高等学校」から「中央学院大学中央高等学校」と改称いたしました。また、平成十三年には中央区新川から江東区亀戸へと校舎移転をして、十三年目を迎えま

したが、その間、新校舎の新設、制服も三度の変更となりました。恐らく、卒業生の皆様が在学していた頃の面影は見る影もないかもしれません。母校への関心・懐古の情が徐々に薄れてきてしまっているのではないかと推察されます。

しかし、本校の歴史は百十二年目を迎えますが、校歌は設立当初から変わらず、「隅田の流れ 永代」にはじまり、「中商」の教育理念を踏襲しております。我々は、新しい時代の流れとともに、幾度となく新しい改革をしてきました。しかしながら、新川の中商は学校法人中央学院発祥の母体であり、法人全体の歴史と伝統のシンボルであるということをお忘れはけません。

私が教員になった当初も、ビルに囲まれた新川時代からでした。五階建ての狭いビルの屋上で部活動を行い、マラソンは付近のビルに囲まれた東京の都市空間の中を生徒と駆け回ったものです。グラウンド・体育館はなく教育施

設は、今ほど整っていませんでしたが、小さいながらも学園祭など工夫して実行し、生徒と教員が丸となって行事を盛り上げていました。今は、無き校舎ですが、私の心の中には一つ一つが、景色なり、物事なりと結びついて思い出となり、心に残っています。

卒業生の皆様、新しい校舎をご覧になりながら、思い出のひとコマひとコマを繰り出す節目があつてもいいのではないのでしょうか。

そこで、念頭で申し上げましたように、校友会に次世代を担う若い卒業生の参加を促すこととはできないかと、検討し話し合いを重ねてまいりました。我が校の発展を支えてきた校友会が、若い世代の盛り上がりにより、今後さらなる発展を遂げるよう望んでおります。

来年度に、校友会主催での同窓会開催が出来るように邁進してまいりますので、よろしく願いいたします。

学生時代の思い出



96期

柳 辰徳

まず振り返ってみて、私が中央商業高等学校(現・中央学院大学中央高等学校)に入学を決めたのは家から近いという単純な動機でした。生まれが江東区の永代だったので歩いて5分程度で通えるというのと、慣れた土地にある学校という事もありまして。



卒業式の集合写真、最上段の左から3人目

通っていた当時は亀戸ではなく中央区の新川にあり、隅田川の流れる長閑な場所でありつつ証券会社がひしめく経済的な場所でした。今の校舎のようにグランドや体育館はありませんでしたが、

体育祭や球技大会などは他の施設を借りて行われた為、ちよつとした遠足気分になれたのも良い思い出です。

三年間の中での一番の思い出は二年生の時に研修旅行で行った沖縄です。初めて沖縄に行ったのですが壮大な景色にとっても感動しました。特に石垣島の海はどこまでも続く青い海で、透明度が高いため色鮮やかな熱帯魚などがサンゴを歩き来する姿には学生ながらとても癒しを感じました。バナナボートにシュノーケリングなどのマリンスポーツを体験できた事もとても良い思い出です。



沖縄での記念写真、前列の左から3人目

この校友会報を書くに当たって久しぶりに卒業アルバムを見て思いましたが、今もお付き合いのある友人や恩師もいますが疎遠になってしまった人達にも会ってみたくなりました。今はSNSに

よって連絡などは取れるようにはなりましたが、やはり対面して当時の思い出など語り合いたいものです。久しぶりに同窓会でも開きたいな。校友会はそういう意味でも先輩後輩と様々な方とお話できる場でもありますので、気軽に参加して頂ければと思います。

平成26年 合同新春懇親会

平成26年1月24日(金) 恒例の合同新春懇親会が開催されました。校友会・PTA・PTAOB会・教職員の四者による合同新年会です。吉野賢治理事長の来賓祝辞、平川憲一前校長の乾杯音頭で開会した後、懇親会



乾杯の音頭をとる平川憲一中央高校前校長

に移りました。



中央高校同窓生が集まり話に花が咲きます



先生・職員・PTAの方々も新年の挨拶に集まりました

平成26年度
評議員会及び懇親会

平成26年6月6日(金)、第一ホテル両国において、定時評議員会(総会)が開催されました。

気象予報が全国的に大荒れ模様を伝える中、55人の評議員が出席しました。総会は谷本専務理事の司会進行で始まり、熊沢議長のもとで、寺嶋副会長による前年度会務報告、中島会計理事による決算報告及び進藤監事による監査報告そして佐藤副会長による本年度の事業計画並びに中島会計理事による予算案が審議され、出席者からの質疑応答を経て全会一致で原案が可決されました。



総会の席で学校の近況報告をする土田校長

事業計画の中で、佐藤副会長(広報担当)

から特に発言があり、会報誌発行に伴う経費の削減を配慮し、年2回発行してきた広報誌「校友会報」を年1回に変更する旨の説明がありました。発行時期は、卒業生が参加できる「合同新春懇親会のご案内」ができ、更には学校のメイン行事である「文化祭」終了後の11月下旬から12月上旬にかけて、発行する旨の提案がありました。



熊澤校友会会長の挨拶



法人吉野理事長の挨拶

続いて開催された懇親会では、進行役に梅津常任理事が加わり、相変わらずの名調子に誘われて、評議員会での緊張感も解け、和気あいあいの進行となりました。



懇親会席では熊澤会長が座り挨拶を受けていました

平成26年度 事業計画
定時評議員会において、平成26年度の事業計画・会務報告・決算・予算・監査報告並びに校友会役員等が決定されました。

- 一、評議員の活性化をはかる
- 二、会費の増収につとめる
- 三、会報の年一回発行を実行する
- 四、在校生、学校との連絡を強化する
- 五、中央学院学友会校友会連合協議会と連絡を密にする
- 六、委員会活動を活発化させる

平成26年度 校友会役員名簿	
役職	卒業生
会長	熊澤幸蔵
副会長	澤田和昭
専務理事	佐藤昌信
常任理事	寺嶋昭雄
常任理事	平川憲一
常任理事	谷本弘一郎
常任理事	中島伸一
常任理事	村松重徳
常任理事	三谷昌幸
常任理事	白石勝弘
常任理事	石田高幸
常任理事	樋口やい子
常任理事	梅津修
常任理事	大橋治久
常任理事	安西治
常任理事	秋山正夫
常任理事	時田孝行
常任理事	金子由信
常任理事	中野淳一
常任理事	高島有美子
常任理事	青木康則
常任理事	藤掛晃浩
常任理事	柳辰徳
常任理事	進藤幸彦
常任理事	山崎正明
常任理事	吉野賢治
常任理事	佐藤義則
常任理事	小川勇
名誉会長	42

会務報告

*平成25年

- 4月6日 学院大入学式
- 4月9日 中央高校入学式
- 4月10日 中央学院高校入学式
- 4月19日 決算監査
- 4月19日 校友会理事会
- 4月24日 学友会校友会連合協議会総会

正副会長会議

- 6月2日 学友会校友会連合協議会
- 6月3日 千葉県館山

『中央学院大学セミナーハウス』

- 6月7日 定時評議員会(総会)
- 10月6日 校友会理事会(親睦会)
- 11月10日 中央祭
- 11月16日 新校舎竣工式
- 12月11日 校友会理事会納会

*平成26年

- 1月2日 箱根駅伝(往路)
- 1月3日 箱根駅伝(復路)
- 1月3日 駅伝慰労会
- 1月31日 四者合同新春懇親会
- 3月1日 中央高校卒業式
- 3月1日 謝恩会
- 3月9日 中央学院高卒業式
- 3月20日 学院大学位記授与式

平成25年度 収 支 決 算 書

自平成25年 4月 1日
至平成26年 3月31日

(単位:円)

収入の部	決算	予算	差異	支出の部	決算	予算	差異
会 費 収 入	3,107,000	3,360,000	△253,000	評 議 員 会 費	252,980	300,000	△47,020
				会 報 等 印 刷 通 信 費	1,557,550	2,400,000	△842,450
寄 付 金 収 入	10,000	10,000	0	同 期 会 補 助	20,000	50,000	△30,000
				同 好 会 補 助	20,000	40,000	△20,000
				事 務 費	100,000	100,000	0
雑 収 入	215	0	215	慶 弔 費	100,000	50,000	50,000
				ス ポ ー ツ 奨 励 金	250,000	250,000	0
基本財産取り崩し	0	0	0	中央学院連合協議会々費	100,000	100,000	0
				新 入 生 卒 業 生 記 念 品	357,630	500,000	△142,370
				雑 費	15,620	50,000	△34,380
				予 備 費 他	0	50,000	△50,000
経常収入計	3,117,215	3,370,000	△252,785	経常支出計	2,773,780	3,890,000	△1,116,220
基本財産運用収入	25,996	26,000	△4	基本財産組入支出	0	0	0
前年度繰越金	1,451,587	1,092,648	358,939	次年度繰越金	1,821,018	598,648	1,222,370
計	4,594,798	4,488,648	106,150	計	4,594,798	4,488,648	106,150

※他に基本財産 9,320,000円(5年千葉県債 932万円 (0.35%))

平成26年度 収 支 予 算 書

自平成26年 4月 1日
至平成27年 3月31日

(単位:円)

収入の部	予算	前年度予算	差異	支出の部	予算	前年度予算	差異
前年度繰越金	1,821,018	1,451,587	369,431	評 議 員 会 費	300,000	300,000	0
				会 報 等 印 刷 通 信 費	1,500,000	2,400,000	△900,000
会 費 収 入	2,900,000	3,000,000	△100,000	同 期 会 補 助	50,000	50,000	0
				同 好 会 補 助	40,000	40,000	0
寄 付 金 収 入	10,000	10,000	0	事 務 費	100,000	100,000	0
				慶 弔 費	50,000	50,000	0
雑 収 入	0	0	0	ス ポ ー ツ 奨 励 金	250,000	250,000	0
				中央学院連合協議会々費	100,000	100,000	0
基本財産運用収入	26,000	26,000	0	新 入 生 ・ 卒 業 生 記 念 品	500,000	500,000	0
				雑 費	50,000	50,000	0
基本財産取り崩し	0	0	0	予 備 費 他	50,000	50,000	0
				基本財産組入支出	1,000,000	0	1,000,000
計	4,757,018	4,487,587	269,431	次年度繰越金	767,018	597,587	169,431
				計	4,757,018	4,487,587	269,431

※同期会補助—同期会(クラス会でないもの)の補助年間1回 10,000円。

※同好会補助—同好会(10名以上の団体)の補助年間 20,000円。

※スポーツ奨励金—中央高校のスポーツ充実・発展を図る為生徒・運動部に対して奨励金を支給する。

校友会理事会
「鬼平犯科帳・押上村散策」

65期 梅津 修

9月28日(日) 午後1時30分、墨田区観光協会吾妻橋観光案内所集合にて、18名の参加者で鬼平犯科帳押上村コースへと早速の出発となりました。



如意輪寺ではガイドさんの名調子に耳を傾けました



スタートは墨田観光協会前

晴天の気持ちのいい街歩きの下は、吾妻橋(大橋)から如意輪寺(鬼平第四巻敵)そして枕橋(蛇の眼)へと、



三囲の土手(墨堤)に沿って桜の大木が茂っている



ここで、鬼平が蛇の平十郎の後ろ姿を見届ける

墨堤を北へ三囲の土手(山谷掘より吉原方面を望む)から三井越後屋の守り神三囲神社(迷路)の境内へと進んでいきました。
(吉原は、遊女3000人を有する幕府公認の繁華街を有している遊郭である)



大正12年創業の煎餅店前で休憩、アイスクリームを食べ

篤姫ゆかりの寺、常泉寺(正月四日の客からしばらく地蔵の南蔵院跡をへて業平橋へと、西尾隠岐守下屋敷跡の大正12年創業の煎餅店みりん堂で休憩。ぬれせんべいとソフト・アイスクリームのコラボしたアイスを食べる。



三囲稲荷の神像は弘法大師の策と言われている

ガイドさんの名調子に、江戸の雰囲気想像しながらの街歩きでした。
長谷川平蔵、その人は火付盗賊改として江戸時代実在した人物であります。無宿無頼への強制執行と、人足寄場設立という、画期的な事を世界に先駆けて成し遂げた人でした。
池波正太郎作品により、江戸時代の本所界隈がふんだんに描かれています。ほんの一部分ですが、押上村コースを今回街歩きしました。池波作品の鬼平犯科帳シリーズをお読みになってない方は、ぜひ一読をお勧めします。



平蔵の盟友・岸井左馬之助が寄宿した春慶寺に到着

集合場所で頂いた券が、ソフトに化けるという、粋な計らいで何か儲かった気分になり、多少汗ばむ陽気に丁度良い冷たさが良かった。
平蔵の盟友、岸井左馬之助の寄宿の寺春慶寺がゴールです。



土田校長の学校近況報告



吉野理事長の挨拶



熊沢会長の挨拶

鬼平犯科帳「押上村」の散策が終わった後、午後4時より理事会の開始となりました。司会谷本専務理事の進行により熊沢校友会会長より議題として、①校友会青年部の発足、②新年の箱根駅伝の応援要請等についての議事があり、全員にて承認されました。



沢田副会長の乾杯音頭で懇親会がスタートしました

理事会終了後、澤田校友会副会長の激励の一言と、乾杯の発声により親睦会がスタートしました。



大橋常任理事からの提案

続いて、土田校長より学校の近況報告として、①文化祭見学の要請②軟式野球部、東京都高等学校軟式野球夏季大会ベスト8進出の報告がありました。
(江東区報に、がん研有明病院に本校学生が体験学習した旨の記事が登載)



江戸料理の説明に、納得して味を噛みしめました

懇親会の会場となった「押上よしかつ」店は、東京の食材（魚・野菜・酒）にて料理を出してくれるこだわりの店です。店主が一つ一つ食材の解説をして



会長・理事長を囲んで欲談は盛り上がりました

頂きながら、食べまた飲み親睦会となりました。
間近に迫った文化祭の盛況と年末に向い学校の発展と校友の絆を益々深めた一日となりました。



お話は尽きることなく多様に広がりました



こちらは味よりもお話の方に大輪の花が咲きました

平成26年度
中央祭

☆「中央祭について」

三年B組 門馬 司

今年度の中央祭は、新校舎に移って二度目の文化祭になりました。そして、今年には「汗と涙、誰もが笑顔になれる中央祭」をスローガンに、生徒が一丸となり準備を進めてまいりました。実行委員会の企画は、巨大ちぎり絵の制作でした。一生懸命取り組み、正面の大階段に飾りつけ、当日は多くのお客様に見ていただけたのではないかと思います。



また、吹き抜けには各クラスの垂れ幕を掲げました。クラス発表においては、模擬店や催し物、体育館でのダンス披露と各クラスが趣向を凝らしたものになりました。またクラブや有志団体の発表も大いに盛り上がりました。他にもPTA主催のバザーでは多くの保護者の方々に、福祉体験では江東ボランティアセンターの皆様にご協力いただきました。中央祭当日は、台風が接近していたため、来場者の数が気になるところでした。

が、たくさんの方々の保護者の方々や、卒業生の先輩たち、他にも多くの人たちにご来場いただき、大変感謝しています。今回の来場者数は私の予想をはるかに超えていました。そして、何よりも嬉しかったのは、無事に中央祭を終えられた事です。私たち生徒も来場者の方々も含めて皆さんが笑顔になれたと思います。

今回、私は中央祭実行委員長という生徒のまとめ役をさせていただきました。多くの事を学ぶことができました。このことを私は次の進路でも糧にしていきたいと思っています。中央祭実施にあたり、ご協力してくださったすべての方々へ感謝いたします。そして、一緒に頑張った実行委員会のみんな、頼りない私に文句の一つも言わずについてきてくれて本当にありがとうございました。最後に陰ながら応援してくださった先生方、私に貴重な経験をさせてくださったって、本当にありがとうございました。



☆「中央祭2014」

教諭 庄司 俊介

私の高校時代・・・、もう二十年以上前の出来事ですが、齢が分かってしましますね。私は高校当時、生徒会の副会長をしていました。その関係で、二年生の時に文化祭を運営という立場で見ることができました。私の母校は一学年でも十六クラスあるマンモス校でしたので、全体のテーマを決めるだけでも大変だったような覚えがあります。月日は移り変わり大学では天文部というサークル活動に力を入れていました。大学三年生の時に部長になりまして、百人近く居る部員を束ねる立場となりました。代表者として文化祭のための様々な会議に出席し、これまた、運営の人たちがどんな事で苦労しているのか、どんなことに気を配っているのかを肌で感じる事ができました。それまでの私は、どちらも学生という身分で文化祭の運営というものを見てきました。高校時代には高校の苦労があり、例えば、能力も考え方も今よりも稚拙で、自分の考えを伝えるだけでも大変でした。大学時代は自分たちで責任を持って運営することを学びました。事故や問題がないように、また、あったとしても自分たちで解決できることが重要でした。

前置きが長くなりましたね。

今年度の中央祭は生徒実行委員長の門馬君の文章にもありますが、台風の接近の心配がありました。中央祭本番の直撃はなさそうでしたが、当日の天候を考え、そんなにお客さんの数は多くないだろうかと心配していました。しかしなが

ら、なんと八百人近い来場者があり、大雨の中、たくさんの方々に足を運んでいただいて、大変感謝しております。ありがとうございました。そして、私が一番感動したのは、生徒たちの動きがとても良いことでした。実行委員をはじめとどのクラスの作業も、生徒一人ひとりが十分な力を発揮したのではないかと思います。公開はしていませんが、開会式では舞台袖ではほほえましく、各クラス団体の説明や発表を見ることができました。そして、四十歳になつたいまでも、文化祭の運営って大変だなあ・・・(他人事のように言っていますが。)と感じました。学生時代とは違い、現在は教員としてお給料を頂いている立場です。でも、生徒たちが輝いている瞬間を見ることができるといふ、一番のご褒美があることだと思えます。中央高校の全生徒たち、感動をありがとう！





学校には校友会室があります。部屋には学校創設以来の卒業アルバムが並び訪れる人を待っています。是非一度気楽にご来訪ください。

部 活 動

☆軟式野球部 ベスト8の快挙

主将 鈴木 薫

「東京都高校軟式野球夏季大会」私たち軟式野球部は、日々厳しい練習に取り組んでいます。校外のグラウンドを借りて練習することもたびたびあり、校友会のスポーツ奨励金を利用させていただいています。

今年の夏季大会が始まる前にはチーム全員で、大会の目標を『ベスト8』に決めました。練習試合でも好結果が出ており、皆自信があったからです。

しかし、大会2週間前に実施されたOBの方々との試合では覇気がなく、自分自身もキャプテンとしてチームを引っ張ることができませんでした。

今の状態で勝てるのかという不安を抱えたまま大会当日を迎えましたが、3年生はこれが最後の大会になるので、悔いだけは残さないようにしようと決めていました。

とにかく初戦で良い勝ち方をすれば勢いに乗れるとチーム全員が思っていました。結果、攻守にわたり相手を圧倒する形で、初戦を突破することができました。次の試合も苦しい戦いになりましたが、チーム一丸となって競り勝ち、目標にしていたベスト8をかけた試合では先制されたものの追いつき、延長の末、劇的なサヨナラホームランで勝利しました。とても嬉しかったのですが、まだまだ上を目指せると気持ちを引き締めました。

準々決勝は駒沢野球場で行われました。先制したのですが追いつかれ、またしても延長戦に突入しました。残念ながら最後はサヨナラ負けで短いようで長かった汗と涙の夏は終わりました。試合後に全員がベンチで泣いていた光景は今でも忘れられません。

ここまで来られたのも、自分たちが最大限力を出せるように応援してくれた家族の支えがあったからです。家族には感謝の言葉しかありません。駒沢野球場でチーム一丸となって戦った経験は私

の高校生活の中で一番の思い出になりました。



☆関東選抜大会出場

レスリング同好会

顧問 岩崎太郎

11月15日、16日と、大森学園高等学校において東京都新人大会が開催され、本校からは66kg級に2年B組の木村颯君が出場しました。普段70kg近い体重のある木村君ですが、試合前には厳しい練習をして、無事に体重を落とすことができました。その結果2位入賞を果たし、来年1月に栃木県足利市で行われる、第41回関東高等学校選抜レスリング大会への出場が決まりました。現在部員が2名と寂しい状況ですが、二人とも真面目に練習に取り組んでいます。関東選抜大会で勝ち抜くことは大変ですが、全国選抜大会への切符がかかるベスト8を目指して頑張りたいと思います。

今後も、校友会の皆様に応援していただけるよう活動していきますので、ご支援のほどよろしくお願いいたします。



箱根駅伝の取り組み

今後の予定

中央学院大学

駅伝コーチ 尾上 岳史

「校友会の皆様方におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。また、平素から私ども駅伝部にご支援、ご声援をいただき、厚く御礼申し上げます。

去る10月18日(土)、東京都立川市にある国営昭和記念公園(一部陸上自衛隊立川駐屯地内)で、第91回東京箱根間往復大学駅伝競走の予選会が行われ、総合5位で13年連続16回目となる箱根駅伝への出場権を獲得することができまし

た。



大勢の声援を受けて1区スタートする潰滝選手（黄色のパンツ）

本学は前回大会の第90回箱根駅伝では、シード権ラインでの争いを展開するも、総合結果は12位となり10位までに与えられるシード権には僅か57秒届かず、大変悔しい思いをいたしました。その悔しさを胸に厳しい夏を乗り越え、4年生の及川、3年生の潰滝、塩谷のチームの柱となる3選手は、昨年度よりも更なるレベルアップを図ることが出来ました。

更に、3年生の山本、2年生の海老澤剛は、今年急成長し、柱の3選手に次ぐ力をつけ上位選手層の厚みが増してきました。また、彼らに続く選手も、この夏の成長を予選会でしっかりと結果で

示し、中位以下の選手の底上げも順調に進んでいることがわかりました。それ以外にも、1年次箱根駅伝1区を走ったものの、その後故障に苦しんできた4年生の芝山、3年連続で箱根駅伝を走り、安定した結果を残している同じく4年生の山田も怪我から回復し、箱根駅伝予選会には僅かに間に合わなかったものの、予選会後に行われた高島平ロードレース（10・19）と日体大記録会（10・25）でしっかりと結果を残し、復調ぶりを感じさせる走りをしております。

今後は、11月16日（日）の上尾ハーフマラソン（埼玉県）、11月23日（日）の10,000m記録挑戦競技会（慶應義塾大学日吉キャンパス）に臨み、各々で結果を残し、箱根駅伝本戦に向けて弾みをつけ、12月10日（水）の箱根駅伝選手エントリーでは、ベストメンバーで16名の選手エントリーが行えるようにしたいと思っております。

末筆にはなりましたが、校友会の皆様方の益々のご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます。“箱根駅伝”では、シード権以上を目標に、部員一丸となつて努力精進してまいりますので、本戦でのご声援の程、宜しくお願い申し上げます。



7区を走る木部選手



4区を走る木部選手



10区を走る山田選手（右から4人目）



中央学院大学
中央高等学校

☆修学旅行

2年B組 桑原麗奈

6月7日から4泊6日でハワイへの修学旅行へ行った。ホノルルに着いた瞬間、初めての日差しの強さと空気が、陽気で、温かいハワイの人々の人柄に気分が高揚した。修学旅行の一大イベントであるホームステイでは、文化や歴史の違いよりも、日本語が通じないことが不安だった。

最初は何を言われているのか理解できず、単語を聞くので精一杯だった。しかし、言葉は通じなくとも、プールで泳いだり、食事の時に賑やかに話をしていると、少しずつ分かっていくことが出来るようになった。それがとても嬉しかったし、楽しかった。身振り手振りのジェスチャーや表情が大事なものは、日本でも同じだと感じた。3日目はクアロア牧場へ行っただ。様々なアクティビティから、ジープツアーと映画村バスツアーを選択した。映画村バスツアーでは、ジュラシック・パークの撮影場所の見学をし、クアロアの壮大な自然を肌で感じる事ができた。



午後からはポリネシアカルチャーセンターへ行き、ポリネシアの文化を学んだ。4日目の自主研修では、トロリーバスから見えるハワイの海や、風に乗って聴こ

えてくる運転手の陽気な歌声が心地良くて胸が躍った。ホノルルから帰宅する際には、お土産と思いい出でスーツケースがいっぱいになった。帰りの飛行機で少し寂しくなったが、ハワイでのたくさんのお土産を思い出しながら、自宅までの道のりを過ごした。



☆一学年研修旅行を終えて

教諭 内堀直行

4月14日から2泊3日で、山梨県富士河口湖町に行きました。入学式を9日に終えたばかりで、まだ学校にもクラスにも慣れていない中、本校の生徒として自覚を持たせること、クラスや学年の中で、コミュニケーションを図ることを旅行の目的としました。天候にも恵まれ、富士山の雄大な景色を眺めながら、各プログラムを予定通りに行うことができました。

した。



力は禁止」「いじめや人権を侵害することとは許さないこと」から話し、成績や進路についての講話と、校歌指導を行いました。

2日目は、クラスごと・グループごとに分かれ、飯盒炊爨で協力して、飯盒でご飯を炊き、カレーを作りました。午後にはスポーツチームビルディングを道の駅なるさわ周辺で実施しました。グループごとに各チームポイントを取り、チェックポイントの得点とかがかった時間により順位を決めるゲームです。チェックポイントごとに得点が異なるため、グループで相談しながら、グループごとに真剣に取り組んでいました。

最終日は、クラス対抗で、校歌の合唱とクラスで17名を選抜し、建学の精神を暗唱するゲームを実施しました。クラスごとによく練習した結果が現れたと思います。

これから3年間の高校生活を送るに当たり大切なことを身に着けてくれた有意義な旅行であったと思います。

☆球技大会

3年B組 中林公平

6月18日に、中央区立総合スポーツセンターで球技大会が行われました。私は実行委員長として、企画・準備・運営に携わってきました。そのなかで、クラスの皆と協力して参加することの重要性を強く感じました。

当日は、バスケットボール・バレーボール・卓球・ソフトボールを行い、どの種目も大いに盛り上がり、6種目中4種目で3年生が優勝しました。

途中、雨が降り始め天候に不安があり

初日は、本校で3年間学ぶ上で大切な3つの事「先生の指導に従うこと」「暴



ながらも、怪我をする人もなく無事に終えることができました。また、クラスによっては、球技大会に向けて昼休みに練習するなど、今年はクラスの熱い思いがありました。実行委員長として委員をまとめることは大変でしたが、全校生徒が楽しむことができ良かったと思います。

次年度は、優勝することも大切ですが、それよりも先にある、学年を越えた人間関係を築いていくことができる球技大会にして欲しいと思います。

☆体育祭

3年B組 紫葉 拓也
今年度の体育祭実行委員長を務めました、3年B組 紫葉 拓也です。

私は、今までこのような経験がなかったので、先頭にたつて人を動かすことの大変さを実感し、たくさんことを学びました。



最初の全体会議は、号令をかけても一回では聞いてもらえませんでした。どうすれば実行委員長として実行委員をまとめて、体育祭を成功させることができるかを考えました。思いついた答えが「コミュニケーションをとる」ということでした。クラス・学年の垣根を越え、積極的に声をかけました。会議を重ねて体育祭が近づくにつれ、実行委員に一体感が芽生え、順調に準備が進みました。

体育祭当日、実行委員は裏方として必死に働きました。ある先生から「順調に進行しているね」と言われ、嬉しくて涙が出そうでした。

また、終わってからたくさんの先生からすばらしい体育祭だったと言っていただき、肩の荷がおりてホッとしました。

最後に、私の高校生活の中で一番達成感を得たのがこの体育祭で実行委員長を務めたことであり、誇りに思います。今後、この経験を活かし、中央学院大学中央高等学校の生徒であることに誇りを持って努力したいと思います。





☆生徒会

会長 三好 結希

私が生徒会に入った理由は、中学生の時に友人が入っていて、生徒主体で活動するさまがかっこ良く、私もなりたいたいと憧れを抱いたこと、様々な委員会と関わること、ボランティア活動に参加できることの三つが主な理由です。

本校に入学し、新入生歓迎会で生徒会長の話の魅力を感じ、会計として一年間活動をしました。会計は生徒会費の管理・決済などがありますが、球技大会、体育祭、生徒総会、送別会、新入生歓迎会などの運営などもあります。一年間先輩たちと様々な活動し、話をしていく内に、高校の生徒会は私の思っていたのと違い、固くて、近寄りがたく、成績のた

めに入る人達の集団かと思っていました。しかし、実際は物腰が柔らかくて、人柄の良い、ボランティア活動や委員会の仕事に関わりたいたいという意志を持った人達の集まりでした。



二年生になり、そういった先輩たちの長所を引き継ぎ、会長として次の三つのことを実施したい。一つ目は、笑顔で自然と挨拶が交せるような活気のある学校にしたい。二つ目は、学校内に植物を育て、心やすらぐ雰囲気を提供したい。三つ目は、学校内にゴミが落ちていない生徒一人一人が気持ちよく過ごせる学校にしていきたいことです。そのためには普段から生徒一人一人の言葉に耳を傾け、今何が必要なのかを常に考え、より良い案をだしていくようにクラス委員を中心に働きかけていきたいです。中央高等学校の生徒会の名に恥じず、歴史に残るように全力で取り組みたいと思

中央学院高校

☆「中央学院高校の近況」

教頭 石田幸正

いますので、今後とも温かい目で見守っていただけると幸いです。よろしくお願ひ致します。

新年度、意欲的に高校生活を送ろうとする決意で入学した384名の新入生を迎え、総数1,126名の生徒が常により高いものを目指すことを期待され、教職員と共に本校の特色を最大限に活かす学校作りに日々努力を重ねています。昨年度からスタートした完全週6日制もすっかり生徒たちに定着し、学力アップに向けて、確かな手応えを感じています。

進路指導は本校創立以来、7年連続の国立大学複数合格(筑波大、茨城大、釧路公立大)となり、今年度は8年連続への挑戦となります。25年度の進路状況は、中央学院大に62名(実進学数48)、私立大学(主な合格校：早稲田大、立教大、法政大、青山学院大、明治学院大、学習院大、明治薬科大、東邦大、日本大、獨協大、東洋大、専修大等)に291名、短大(主な合格校：青山学院女子、大妻女子、共立女子等)に17名が合格しました。専門学校62名の合格を加えると現役合格率97.3%、大学・短大への進学率76.2%を達成しました。生徒は明確な目的意識をより確かなものにしていくために学習や部活動に真剣に取り組んでいます。また、社会に出てから

もより豊かな人生を送れるよう、高校時代のうちに学び続ける力を身につけることも重要であると考え、幅広い分野に意欲的にチャレンジする10種11検定資格取得を奨励し、基礎学力の向上を目指しています。25年度は総受験者数977名、2級以上に56名が合格しました。

7月と8月に2回行われた学校見学会には1,476名の保護者・中学生が参加しました。千葉県の高校入試は依然として公立志向が高く、その変化は見られませんが、本校を含め特定の人気私立校は年々レベルを上げております。



2学期に入っても、体育祭や学院祭(来場者2,070人)など学校行事を通して生徒一人ひとりがお互いに相手を認め合い、尊重し合い、微笑ましい雰囲気がか校内に満ちております。部活動では大

きな活躍がありました。バドミントン部が34年ぶりに男子団体及びダブルスで全国高校総体に出場する快挙を成し遂げました。

野球部は全国高校野球選手権千葉大会で準々決勝進出、陸上競技部は全国高校陸上選手権大会2,000m障害で個人8位入賞、バレーボール部は男女ともに私学高校関東大会に出場しました。文化系では、書道部が千葉県小中学校席書大会で最高賞の県知事賞、高田宮杯日本武道館大展示会で5年連続8回目の全国優秀団体賞を受賞しました。

本校は教師と生徒の距離が近く、手をかける教育に磨きをかけ、生徒一人ひとりの顔が見える学校であるよう心がけています。豊かな教養を身につけ、社会に貢献できる力の礎を築くための大切な3年間は「共に育み、共に創る」ことで形づくられております。本校は創立50年へ向かっております。この50周年はゴールではなく、遠くを見据え、確実に歩みを進めていく未来へとつながっていると実感しております。

中央学院大学

☆ゴルフ部女子大活躍

関東Aブロック・

全国大会・春秋連覇

6月4日・5日に開催された関東大学女子春季Aブロック対抗戦で、ゴルフ部女子が優勝いたしました。トータルスコアで2位以下を大きく引き離す圧勝で

した。男女通じての初優勝です。MVPは2日間を通して安定したプレーが光った金澤志奈さんが受賞しました。

6月17日・18日に小樽カントリー倶楽部で開催された第37回全国女子大学ゴルフ対抗戦において、ゴルフ部女子が初優勝を果たしました。団体戦での全国制覇は開学以来、初の快挙となりました。MVPは、丹野寧々さんが受賞しました。

さらに9月10日11日に富士カントリークラブ（静岡県）で開催された関東大学女子秋季Aブロック対抗戦では、2日間安定したプレーで接戦を制し優勝しました。見事、春・秋連覇を達成しました。



そして、10月28日・29日に開催され

た第17回朝日杯争奪日本女子学生ゴルフ選手権では丹野寧々さんが優勝しました。翌日から開催された第15回信夫杯争奪日本女子大学ゴルフ対抗戦では逆転優勝し、金澤志奈さんがMVPを獲得しました。この結果により、関東・全国大会春秋連覇を達成し、団体戦で完全制覇を成し遂げました。

ゴルフ部女子 商学部3年 入江亜衣さんより

高校では監督が作ったメニューで練習していましたが、大学に入ってから監督・コーチ・学生で話し合って練習内容を作るので、空いている時間に自主練習をするなど時間を効率的に使えます。また、筋トレやランニング、打球練習など基礎的な練習と共に部員同士で教え合うことも大切になっています。部員は元気で仲が良く、みんなで助け合っていて部内全体が明るくなるように心がけています。

団体戦などの試合前には、「一笑い入根！」(日本一の笑顔と、「根」は人から見えないところでの努力と取組みを意味しています。)と部員全員で声を合わせて励まし合っていますが、これからも「日本一」を維持できるように日々努力を続けていきます。

☆学長交代

学長を2期8年務めた椎名市郎商学部教授が、この6月30日をもって任期満了となりました。7月1日から佐藤英明商学部教授が学長職を引き継ぎました。今後ともよろしくお願いいたします。



☆学食の閉店と開店

平成3年に学生会館Viaがオープンして以来、1階で営業を続けてきた「パロン」が8月をもって閉店することになりました。人気メニュー「しゃぶスパ」も、残念ですが、この日が最後となりました。「パロン」跡に、東京赤坂の老舗洋食レストラン「赤坂クーポール」が新たに入り、お弁当の販売を開始しました。お弁当全品オール350円で販売中です。

☆表彰されました

10月21日(火)に行われた“平成26年度千葉県献血感謝のつどい”で、「日本赤十字社 金色有功章」を受賞しました。当日は、学生自治会の3名が表彰式に参加しました。今後も日本赤十字社千葉県支部の方々と協力し、献血活動を続けていきたいと思っております。

校友会々員のうごき

★CGK 軟式野球部

中央高校 専任講師

コーチ 山田 康平

軟式野球同好会（クラブ名：CGK）は、藤掛監督、大柿主将を始め、中央学院中央高校の卒業生13名で構成されており、今年で6年目を迎えました。日曜日に足立区河川敷グラウンドで活動しています。過去、足立区軟式野球連盟梅田支部でリーグ優勝を2回経験しており、常に「勝利」を意識しながら、さらに上級のリーグに上がることができるといって邁進しています。

今季はなんとか勝ち越すことができたものの、些細なミスが多く、もったいない失点が目立ち、4勝3敗と悔しさが残る結果に終わりました。しかし、この結果を受けて、チーム全体に、さらに気合が入ったように感じました。

校友会の皆様が良い報告をすることができるよう、そして、来季はリーグ優勝することができるよう、野球を楽しみながら、さらに頑張つて活動していきたいと思えます。期待してお待ち下さい。

同窓会開催の連絡が2件ほどありましたのでご紹介いたします。

（同窓会開催の補助をしていますのでお問い合わせください）

★51期同窓会

51期の堂々会は、毎年11月頃、定期に

（第3または第4土曜日）に実施します。本年は、11月29日（土）に開催する予定です。

定期以外に、不定期ですが一泊旅行を行っている予定です。本年は、久しぶりに9月の箱根温泉で開催し、たいへん楽しい時間を過ごすことができました。



★55期同窓会

6月21日（土）55期の同窓会が第一ホテル両国で開催されました。

長年の間、隔年ごとに開催し、今回は28人が参加しました。年齢的には全員が74歳を迎えますので、記念写真に写る顔はそれなり歴史を重ねています。味のある顔メタボを恐れず堂々としたお腹など、互いの健康を気遣いながら和気あいあいの中で、盛況理に終えました。最近は、孫の話しに変わり、病気の話がつぼら

の話題になりました。また、今回も令夫人2人が参加して花を添えていただきました。



★高額寄付者のご紹介



奥様の話によると、最近までゴルフや少人数の同窓会を開いていたそうです。

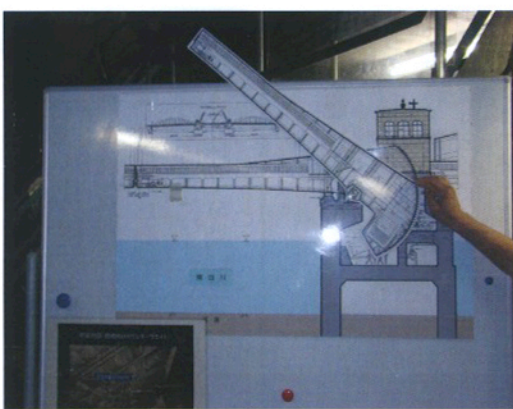
本校、第33期卒業の高田 昭様（東京世田谷区在住）の親族より、中央学院大学中央高校に対して五百万円のご寄付がありました。

重要文化財
「勝鬨橋」の観戦記

9月18日（木）の午後、時折話題になる勝鬨橋を見学してきました。



橋脚内の空間には昔の機械設備が残っています



定規の形をした橋が僅かの力で跳ね上がる仕組み



僅かな力はモーターから歯車に伝わります

橋のはね上げの原理は簡単です。公園で見かけるシーソー遊戯のように両側に同人数の子どもが載れば水平に安定する仕組み（ヤジロベ）です。はね上げる橋げたの片側重量1000トンに合わせ、同等の重りが反対側に隠されており、残り僅かの力で橋が上がる仕組みです。僅かと言っても1000トンですからモーターを利用して動かしします。

（取材・広報担当 佐藤）

来年度の合同新春懇親会

卒業生が学校行事に参加できる機会です。付き合ひのある同窓生をお誘いして気軽にお申し込み下さい。

記

日時・平成27年1月30日（金）
17時30分受付、18時開会
会場・東武ホテルバント東京
墨田区錦糸町1の2の2
JR錦糸町駅北口5分
会費・7千円

申込・FAX 03-5836-7025に
氏名・住所・卒業期・連絡先を記入
下さい。
*当日キャンセルの場合は会費を
申し受けいたします

「校友会費の説明並びに 納入のお願い」

校友会費については、昭和五十八年十月二十日で会則が改定され、現在は次のようになっていきます。

年会費 三,〇〇〇円
特別会費 二〇,〇〇〇円

昭和五十年十月の改定で終身会費二〇,〇〇〇円を決定いたしました。以降これを特別会費とさせていただきます。勿論過去において終身会費として二万円を納入して下さった方は、そのまま終身会員の取扱いをさせていただくのは当然でありませんが、諸事高騰の折柄お願いとしまして年会費も御払込願えれば幸いです。今後は年会費で通常経費をまかない、特別会費分は基金として積立て、将来学校のお役に立てたいと考えています。

現在会費の未納が多く、基本財産を取り崩している状態です。

どうか皆様

基本財産として特別会費

一金 二万円

亦是運営費として年会費

一金 参千円

を左記宛へ納入下さいますようお願い致します。

尚、同封の郵便振込票（振込手数料無し）でお振込み下さる場合は、通信欄にコード番号をご記入下さい。

郵便局

東京 〇〇一三〇一五一一五二一九

三井住友銀行 日本橋東支店

〇三四一七一五〇〇六九

宛名 中央学院校友会

本部住所 〒一三六〇〇〇七一

江東区亀戸七-六五-二二

TEL 〇三二五八三六-七〇二二〇

新校舎建設情報

新校舎は、平成25年11月16日完成を祝って竣工式と祝賀会が開催されました。

これまでに、建設費の一部として3億円を目標に寄付金募集をしてきました。竣工後も継続して寄付金を募ることにしております。卒業生の皆様には、その趣旨をご理解いただき、引き続き特段のご協力ご支援をお願い申し上げます。

中央高校の現在までの寄付金の状況は左記の通りです。目標金額には、未だ大きな差がありますのでご協力ご支援をお願いします。なお、寄付に関しては学校の大驚事務次長にご一報ください。

記

21年9月1日～26年8月31日

	件数	金額 (円)
保護者	338	4,223,500
卒業生	207	20,727,000
教職員	23	1,950,000
在校生	2	7,000
その他	8	443,000
合計	554	27,360,500

訃報

八月二八日、校友会常任理事の清水 進さんが逝去いたしました。心より哀悼の意を表し、お悔やみ申し上げます。

中央高校卒 51期 享年 78歳

編集後記

中央学院校友会報は、装いも新たに船出をしました。

年1回の発行になりましたので、1年間の出来事を濃縮して載せることができるものと考えています。

発行時期は、「中央祭（文化祭）」が開催される10月、また、卒業生全員が参加の機会をもつ「四者新年会」のお知らせが出来る11月下旬を考えると、この時期が適当かと考えます。

また、秋の初めには、理事会を兼ねた「江戸散策」が行われます。時代物をこよなく愛する輩が、場所を変えては昔を偲ぶ心意気を味わっています。駅伝の大学、学院高校のバドミントンと並び中央高校の軟式野球部が肩を並べてきました。更には、大学のゴルフ女子部が慧星のごとく現れ、一気に話題を独占する勢いです。

本誌では、中央祭の取組の熱気を中心に、編集を試みました。勢い余ってページオーバーしてしまいました。今後とも暖かいご支援をお願いします。

昌酒